

令和 8 年度

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）運営基本方針

山形市立西山形小学校

このような学校をめざし、

地域の教育力を生かし、
広がりのある体験・学びができる一人一人が主役の学校

次のような子どもを育てます。

これからの社会の担い手として必要な学力や資質・能力をもち、
西山形地区に生まれ育ったことを「誇り」に感じている子ども

*社会の担い手として必要な学力や資質・能力とは
「数値に見える学力」はもちろんのこと「課題解決能力」や「コミュニケーション能力」、
「情報活用能力」など。加えて「新しい生活様式」など未知の事態に柔軟に対応する力。

「少人数のよさ」を生かし、
一人一人の探究的な
学びを充実させていく

- ・少人数であることで、じっくり課題に向き合ったり、たっぷり情報を収集したり、表現活動をしたりすることが可能となり、一人ひとりが自分の力で課題を解決していく力の育成に結び付けていきます。

「西山形地区」の豊富な
人材・豊かな自然・唯一
無二の歴史・伝統を最大
限に生かし、五感をはた
らかせた体験・学びを充
実させていく

- ・豊富な学習資源を生かし、地域の方々と保護者、そして、教職員が一体となって魅力的で価値ある授業を展開していきます。
- ・AIやICT、バーチャル化、グローバル化など、時代が変わっても感性は人の基本となる力です。だからこそ、子どもたちが五感をしっかり使って学べる体験を充実させていきます。

教職員が集中して学習
や活動の準備ができる
ように、持続可能な学
びの体制や環境づくり
を整えていく

- ・育てたい資質・能力を整理し、実施方法の共通理解を図りながら、多様な子どもたちが安心して学べる体制や環境づくりを整えていきます。
- ・小規模の学校でも、教科担任制や交換授業・合同授業を実施し、複数の先生が子どもを見る機会を増やすことで、子どもの良さや成長を多面的に把握します。